

數学者・岡潔 日本人へのメッセージ (2016年4月8日) 担当:石田昭 2017年6月25日

1 まえがき: 真の科学は真の宗教とも合致するのみならず、宗教の中にこそ、科学的インスピレーション(靈感)がある。地震爆発論も「水は高熱下で酸素と水素になる」から得たひらめき。

2 岡潔は「無私で、自分を投げ出して、世の中のためになる」という吉田松陰、坂本龍馬、弟橋媛を「日本人の真なる生き方」と評価。宗教を始める前の総裁に影響、頭の中に存在。

3 数学的才能とは? 「文系も理系も、ソクラテスのいう「イデア」の世界に参入すること」数学の限界が文明の限界、高等数学を持っていない種族は宇宙旅行もできず、勝てない。

4 数学の難問を解くには修行が必要。「心の曇り」が漫透して「濁り」となるが、それを去ること。数学の修行も、「欲望の滅尽」から、そこに「人類最高の悟り」を得る瞬間がある。

5 吉田松陰、坂本龍馬は「無我の境地」を生きた人。「この世に何の未練もない解脱の境地」

6 宇宙の共通言語は「数学」と「音楽」のみ。物理は数学に引っ張られているから、星間競争に勝つには「数学」を発展させないと、侵略・奴隸にされるくらいの文明格差がある。

7 生前、「天照様が 20xx 年に生まれる」、「天御中主神が 30 万年前に日本を作った」、「一万二千年前にムーから日本に来た」など、述べた。今ある皇室のもっと前の王朝がある。

8 明治維新は竜馬の大政奉還とこれを受け入れる十五代將軍の心とが呼応して成立した。私欲を捨て去って自己の命を擲って国家のために、民族を救うために降り、命を捨てるような人が出てくる洗練された文化は、中国 4~5 千年程度では無理。長い年月を要したはず。

9 三十万年続いた日本の歴史が、先の敗戦で根絶やしにされようとしている。間違った歴史観が 70 年続いてきた(日本会議的発想) 变えることができるるのは救世主のみである。

10 明治維新も天照大神の御心に則って行われたもの。「明治以降の歴史が正しかった」ということを立証すると同時に、「維新以前にも、日本民族の心の中に、世界の文明の、最高の輝きが存在していた」ことを示さねばならん。参考:日本神道には本来多様な考え方がある。
A) 光一元、悪は存在しない、光の不在、地獄を認めない。B) 善惡二元、現実に悪は存在する。悪靈調伏や、禊払いが必要。C) 地上ユートピアを作れば悪は消える。地上の充実が大切。岡潔の考えは A) 思想。

11 西洋的な自立觀を重視する“卵殻教育”、つまり“殻”を大切にする西洋的教育は駄目。“自己の殻”を破らないと創造性は生まれない。自己重視で「集合の力」が生まれない。

12 HSU への提言: 理系教育の原型がほとんど西洋を手本にしている。日本独自のオリジナリティーのある、インスピレーションを受けた「発明・発見」を作っていく必要がある。

13 先の大戦は、日本の神々が世界の人種差別を中止するために起こした、戦後 70 年の動きを見れば分かる(全肯定)。この A) 思考に対し、神産巣日神の考え(C) 思考) は違う。「明治以降の動きと同じもの、やり直しなら世界から弾圧を受ける」「八紘一宇で敗れたことをもう一回やり直すのか」

14 君らは「維新の徒」の“寄宿所”(A) 思考) になっているので、断固応援する。出版がなぜ一年以上遅れたのか? 天女伝説の靈言で「月読命は西洋的思想を入れようとしていた」発言あり。

15 文明のレベルを上げるには「魂を遊離させ、実在世界に行って、理系的アイディアをつかんで帰る、「瞑想修行」が大切である。この運動は世界文明を二、三千年進めようとしている。(道元) レベルの仏教は全部が見えない、「今の時代は総合した悟り」を持つ人がいる。

16 前世: 天照様に「機を織る機械」を作った記憶。味酒淨成(うまざけのきよなり)バター・チーズつくりの技術、自分が作って、大陸に渡ったはず。奈良の大仏つくりの数学者など。

17 戦後の“逆回転”を終わりにしよう。明治維新だけでなく、その前からあった大和民族のすばらしい文明を世界に伝えたい。日本は大陸沈没研究、“南方古陸”研究のメッカにしたい。